



日本の上場企業の公的株主が虚構で、アイデンティティーに致命的欠陥があることを理屈は同じだ。

すなわち、大株主は東京の都市銀行が多い。株式の持ち合い構造を崩すという方向性自身は、すでに日本

本店所在地は地方でも、資本的には「地方の」銀行でない。渋り、時価会計の流れの中で実際に解消売りが進んでいる。また

沢栄一翁が知ったらさぞかし資本の社会主義化に驚くだろう。株価低迷により解消売りを延期

Ａ社の株主にＢ社がなり、その株主に欠ける事業資本の民主化政策

Ｃ社がなり、それがＤ社と続きさせようなどという政策は、かえって株式の失望売りを招く。ただ、「お化け」退治に政策的な整合性が欠けているのは気

本空洞化を招く。日本人のば株主になる。必要なのは、持ち合い株主に代わって本来、事業の所

に使用されるという本来の流れ有者になるべき個々の日本人に対する投資活動促進策だ。日本

い虚構株主は時にパブルを生む人（日本テクノロジープベンチャーパートナーズ投資事業組合代表

「お化け」だ。第三セクターの人がいつまでもばく大な預貯金

のは、第一に政策の範囲を上場株式投資